

製品安全データシート

1 化学物質等及び会社情報

製品名 コテライザー用ガス
型番 SK-90(ボンベ1個あたりの重量:0.15Kg)
SK-95(ボンベ1個あたりの重量:0.27Kg)
化学名 ブタンガス
会社名 株式会社エンジニア
住所 大阪市東成区東今里2-8-9
担当部署 製造部
電話番号 06-6974-0031 FAX番号 06-6974-5661
緊急連絡先 同上(担当部門に同じ)

2 組成、成分情報 (混合物、危険有害物質を対象)

成分名	CAS No	化学物質管理促進法	安衛法通知対象物質	含有量(質量%)
プロパン	74-98-6	該当しない	該当しない	5~10
n-ブタン	106-97-8	該当しない	該当	20~30
i-ブタン	75-28-5	該当しない	整理番号 480	60~70

3 危険有害性の要約

分類の名称 * 高圧ガス(可燃性ガス)

危険性 * 可燃性ガスが入っている。引火及び高温による内圧上昇により破裂の恐れがある。
* ガスが滞留すると爆発の恐れがある。
* 爆発範囲ブタン1.8~8.5%、プロパン2.3~9.5%

有害性 * ガスを吸入すると窒息する恐れがある。
* 高濃度の気体を吸入すると、弱い麻酔性のため一時的に神経系の機能低下を生じる恐れがある。又、液化ガスが皮膚に触れると凍傷を生じる恐れがある。

4 応急処置

目に入った場合 * 直ちに、清浄な大量の水で最低15分間洗い流す。
* 速やかに専門医の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 * 付着物を布にて素早く拭き取る。
* 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗浄剤で十分に洗い落とす。
* 大量のガスが付着した場合、凍傷の恐れがあるので直ちに大量の水又は温水

	で洗浄する。
	* 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には専門医の手当てを受ける事。
吸入した場合	<ul style="list-style-type: none"> * 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。 * 直ちに専門医の手当てを受ける。 * 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所で安静にし、専門医の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> * 誤って飲み込んだ場合には、水で口をよくすすぎ、安静にして直ちに専門医の手当てを受けること。 * 嘔吐物は飲み込ませないこと。

5 火災時の措置

使用可能消火剤	* ABC 又は BC 型粉末消火器、二酸化炭素、泡、砂。
消火方法	<ul style="list-style-type: none"> * 作業は風上から行い、消火者は適切な保護具(耐熱着衣、保護眼鏡等)を着用し、空気呼吸器等を装備する。 * 可燃性のものを周囲から素早く取り除くこと。 * 指定の消火器を使用すること。 * 火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがあるので、消火活動には距離を十分に取ること。 * 高温にさらされる製品容器に水を掛けて冷却する。

6 漏洩時の措置

- * 作業の際には、適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- * 漏れ発生時(噴出時)には、風上より処置を行うようにし、容器の漏出部は上向きにし、完全にガスを噴出させてから処置をする。
- * 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除き、風下の人を避難させる。
- * 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。
- * 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
- * 漏出液を密閉式の容器に集め、残留液を砂又は不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。
- * 漏出液を下水や側溝等に流してはならない。

7 取り扱い及び保管上の注意 (関連法規に準拠して作業すること。)

取り扱い上の注意

- * 使用時には、使用者にかからないように風の流れを背後から受けるようにすること。
- * 換気の良い場所で取り扱う。
- * 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
- * 火炎に向かって噴射してはならない。
- * 温度が高くなる場所に置くと、容器が破裂する恐れがある。
- * 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、吸入したり、目に入らぬよう適切な保護具を着用する。
- * 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け適切な保護具を着けて作業すること。
- * 取り扱い後は手洗い等を十分に行い、衣服に付着した場合は着替える。

- * 静電気対策を行い、作業衣、作業靴等は通電性の物を使用する。

保管上の注意

- * 幼児の手の届かない所に置くこと。
- * 直射日光を避け、通風の良い所に保管する。
- * 水周りや湿気の高い所に置くと、缶が錆びて内容物が漏出、又は噴出する恐れがある。
- * 火気、熱源から遠ざけて保管する。
- * 40℃以上になる所には置かないこと。

8 暴露防止及び保護措置

暴露許容濃度

物質名	日本産業衛生学会	ACGIH(TLV-TWA)
液化石油ガス	許容濃度 1000ppm	1800mg/m ³

暴露設備対策

- * 取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とし、防爆型を使用する。
- * 密閉場所で作業する場合には、排気装置を取り付けること。

保護具

- | | |
|---------|---|
| 目の保護 | * 保護眼鏡を着用する。 |
| 皮膚の保護 | * 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を装着する。 |
| 呼吸器系の保護 | * 有機ガス用防毒、防塵マスクを着用する。
* 密閉された場所では送気マスクを着用する。 |

9 物理的及び化学的性質

性状	状態	大気圧下	ガス状、圧力容器内	液状
	色調	無色透明		
	臭気	やや特異臭		
	沸点	-4.98℃		
	蒸気圧	—		
	比重	0.569(20℃)液比重		
	ph	—		
	粘度	—		
	動粘度	—		
	引火点	-76℃		
	発火点	—		
	爆発範囲	1.9~9.5 vol %		

10 安定性及び反応性

- * 40℃以上になると缶破裂の恐れがある。
- * 通常の条件では安定である。
- * 常用温度で缶内圧は約0.41MPa。

11 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

急性毒性：LC₅₀ 680 mg/L (約26%) 吸入マウス 2時間

LC₅₀ 658 mg/L (約25%) 吸入ラット 4時間

刺激性：皮膚に触れた場合刺激性有り、長時間触れると炎症、湿疹を起す。

目に入った場合、粘膜を刺激する。

その他毒性：若干の麻醉性あり。

生態影響：なし

製品有害性：製品としての有害性試験は行っていない。

12 環境影響情報

* 漏洩時、廃棄等の際には環境に影響を与える恐れがあるので注意すること。

13 廃棄上の注意

* 中身を使い切り、ガスを完全に抜いた後に、他のゴミとはっきり区別して廃棄する。

14 輸送上の注意

* 取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。

* 運搬時には容器を40℃以下に保ち、転倒、落下、損傷がない様積込み、荷崩れの防止を確実に行う。

* 陸上輸送・消防法ほか法令の輸送について定めるところに従う。

* 海上輸送・船舶安全法に定めるところに従う。

* 航空輸送・航空法に定めるところに従う。

* 危険物船舶運送及び貯蔵規則・IMDGコード class2 (UN No.1950)

15 適用法令

高圧ガス保安法 適用除外(液化ガス、可燃性ガス)。

船舶安全法 危険物(高圧ガス)

航空法 高圧ガス

消防法 9条の2に基づく届出(300 kg以上)

労働安全衛生法 可燃性のガス、名称等を通知すべき物質(ブタン)

16 その他の情報

* 出典

労働安全衛生法対象物質全データ、化学物質管理促進法対象物質全データ(化学工業日報社)、脱臭精製ブタンガス MSDS(大洋液化ガス)

* 注意

この情報は新しい知見に基づき改訂されることがあります。ここに記載された情報は、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行って下さい。

以上